

# 【要約版】

## 滋賀県立琵琶湖博物館協議会

### 令和5年度第1回会議

日 時 令和5年（2023年）8月3日（木）

14時00分～16時15分

場 所 琵琶湖博物館1階セミナー室

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 報告事項

水族展示室の水槽破損事故について

### 3 議 題

（1）滋賀県立琵琶湖博物館第三次中長期基本計画に基づく

令和4年度事業についての内部評価について

（2）その他

### 4 閉 会

## 1 開 会

- 開会にあたっての館長挨拶の後、司会（杲副館長）から定足数と会議成立の報告の後、会長が議事を進めた。

## 2 報告事項

### 水族展示室の水槽破損事故について

- 杲副館長から資料1に基づき以下の内容について説明
  - ・事故の発生状況と事後の対応、「滋賀県立琵琶湖博物館水槽破損事故に係る第三者委員会」の開催状況、イラスト展の状況などについて、説明を行った。
- ＜質疑応答＞
- 委員からの質問・意見等は以下のとおりで、事務局からそれぞれ回答を行った。
  - ・事故後の公表や来館者への説明対応についての状況と8月10日開催予定の第三者委員会後の公表についての質問。
    - （回答）事故後の公表は当日午後公表（発表）を行い、来館者への説明はホームページ等を通じて実施した。第三者委員会については、基本公表（非公開の第3回会議も1週間後に内容を公表）しており、4回目の会議およびその後の報告書についても公表の予定。
  - ・水槽破損後の工夫についてのコメントと予算面について、どういふ影響があるかの質問。
    - （回答）工夫についてのコメントは非常にありがたく、今後も工夫を続けていきたい。予算面への影響については、水槽破損分は追加で依頼しているところで、外部資金のお願いも含めて検討中である。
  - ・水槽破損後、博物館の人が直接企業訪問することについて、対面で話されることはコミュニケーションが取れてよかったとの意見。
  - ・水族展示の中で、黒川琉伊さんのイラスト展のイラストをお借りして、トンネル水槽でも装飾しては、との提案。
    - （回答）提案を今後に生かしていきたい。
  - ・中長期計画において「水槽の問題」は、どのような位置づけになっているのかについて、質問。
    - （回答）今回の評価はR4年度の評価。令和5年2月と3月については、事業目標6の施設管理の部分で関わってくるが、元々の中長期基本計画事業がこれでトーンダウンしないように工夫しながらやっていきたい。

## 3 議 題

### （1）滋賀県立琵琶湖博物館第三次中長期基本計画に基づく

#### 令和4年度事業についての内部評価について

- 事務局（企画・広報営業課長）から資料2～6により中長期計画の評価と内部評価に関

わる全体説明を行った。

・個別説明：事業目標 1・2 説明（研究部長、資料活用係長）

事業目標 3・4 説明（環境学習・交流係長）

事業目標 5・6 説明（企画・広報営業課長、総務課長）

○委員からの質問・意見等は以下のとおりで、事務局からそれぞれ回答を行った。

＜事業目標 1・2 の質疑応答＞

- ・資料 3 に関する図示化がわかりやすいとのコメントと、自己評価については、厳しめに見ているのではないかという質問。  
→（回答）内部での議論の結果、大分厳し目にしてはいるが、かなり進んだ場合「順調に進んでいる」、計画どおりの場合「やや進んだ」、あまり進んでいないが、現状維持の場合「維持」ということになっている。施設面は維持さえもできていないので、「悪くなった」という評価。この概要図も今回から始めたもので手探りでやっている状況。
- ・現時点で数値目標を置かないということは理解しているが、一部でもできるものがあれば、目標の数値化について、今後の課題として検討してはとの意見。  
→（回答）助成金を受ける時の予算申請時には K P I（重要業績評価指標）を定めているものもあり、数値目標のあるものもある。数値データについては、これまで開館当初から各種データを取っており、25周年資料集でもまとめているので、そのデータを元に、いろいろと目標を決めていきたい。
- ・概要図の改善についての提案。（例：努力したものは丸の矢印で示し、スピード感を横のバーで示す。）
- ・今回の水槽の件についても、企業連携についても、来館者だけでなく、来館されていない方へのお知らせするような工夫が必要との提案と、障害者関係機関との連携促進についての提案。  
→（回答）今後、いろいろとアイデアを教えてください。
- ・国から助成を受ける事業で目標となるアウトプットの数字が決まっているのかという点と、目標が達成できているのかという点についての質問。  
→（回答）助成を受ける事業のアウトプットの数字については、今年度から実施なのでその数値ありますが、アウトカム指標については現状で目標に向かって進んでいるという程度になるか、はっきりした指標になるかは終わってみないとわからないということになるかもしれない。
- ・研究成果公開の予定があるかどうかについての質問（事業目標 1－1 関連）。  
→（回答）総合研究については、来年と再来年の企画展示で、一部の研究成果を発表する予定。また、現在の共同研究や外部資金による研究等も、今後常設展示の更新や企画展示に使っていくということになる。

<事業目標3・4の質疑応答>

- ・事業目標3「みんなで学びあう博物館へ」教員が博物館で学んだことが学校現場で生かされていないという点については残念で、学校現場でも、もっと体験的な学びを大事にしてほしいと伝えたいとの意見。  
→（回答）今後、現場で実施しやすいような方法を検討しながら進めていきたい。体験的な学びのためには、まず学校の先生たちの体験が必要なので、教員を中心にプログラムを開発できればと考えている。
- ・オンラインツールの活用により、特別支援学校も含めた、学校現場との出前講座ができればよいとの意見。  
→（回答）先程の話と今の話も含め、人手に限りがあることから、学校や地域の方々が行ったことを学校現場や地域で広めていただくという形がよいと考えている。そういった働きかけをしていきたいと考えている。
- ・3-6の図（「25周年記念誌」の87ページの教職員等研修件数）の分析を踏まえて、事業目標3・4につなげてほしいとの意見。  
→（回答）データ分析はこれからなので、今後検討していきたい。
- ・県内小学校の参加校数185校と参加率84%にコメントがあり、「うみのこ」のように、すべての小学校に琵琶湖博物館に来るような工夫ができればよいとの意見。
- ・「うみのこ」と琵琶湖博物館との連携ができればよいとの意見。  
→（回答）博物館の港付近の底が浅いため、船の接岸が難しいという課題があるが、関係者との連携ができれば、対策を考えていきたい。

<事業目標5・6の質疑応答>

- ・昼食場所としての「うみっこ広場」について、一般でも利用できるかとの質問。  
→（回答）昼食場所としては団体利用である。一般の方に関しては、今年度は8月中カフェテリアを使用可能にしておき、お盆期間中もセミナー室を使用可能にするよう計画している。
- ・駐車場からの博物館へのアクセスがわかりにくいとの意見、地図や誘導する目印があればよいとの意見。  
→（回答）以前から課題の一つであり、早急に考えたい。
- ・博物館の事業について優先順位と目指しているものとの関係についての質問。  
→（回答）基本はバランス。その根幹になるのが研究と資料。予算も人材も限られているので、多くの方々とのネットワークが大切だと考えている。
- ・電気代の高騰や施設の老朽化への対応について、現状の問題点やその対策について質問。  
→（回答）28年目を迎えた当館は維持費がかかるが、予算が年々減っている。展示のリニューアルをしたが、内部は相当傷んでいるので、貴重な収蔵品やここにしかない希少種のことを考えると、非常に危機感を持っている。予算の確保や企業との連携、寄附や資材提供、貴重なお知恵もいただいで続けていきたいと考えている。なお、電気代の

高騰に対する措置については、電気代に限り今年度は別枠として県費で措置していただいている。

<全体に関する質問・意見等>

- ・「びわこのちからチャンネル」について、動画の内容を展示室と結びつけて紹介する、さらには、フィールドへ促す工夫の提案。  
→（回答）なるべくいろんな視点から動画でも博物館の情報発信をやり、展示との関係など今後の検討とさせていただきたい。

○「外部評価」に関する決定事項

- ・外部評価は、資料6の「外部評価記入票」を各委員が記入する。
- ・外部評価記入票は8月末日締切で提出していただく。
- ・各委員からの評価票を受けて、外部評価の総評を、会長・副会長で取りまとめをする。

## （2）その他

<その他、博物館に関する質問・意見等>

- ・琵琶湖博物館の「はしかけ」は、研究等にも、広がりや深まりが見られ、どんどん成長していると感じているとの感想があった。

## 4 閉 会

以 上